

# ぶらっど 柏 さんぽ

## 第25回 永楽台近隣センターから歩く

このコーナーでは、地域のかたの情報を基に見つけた珍しいものや歴史などを紹介します。新たな魅力探しに、健康づくりに、あなたも「柏さんぽ」してみませんか？

図広報広聴課 ☎7167-1175

〈永楽台近隣センターへの行き方〉  
☒ 新柏駅東口から、徒歩10分



今号で取り上げられなかったスポットも掲載



◀詳しい地図はこちら

### ① 跨線橋(こせんきょう)

住宅街を抜けた先にひっそりとある跨線橋。看板の裏に描かれていた馬は現在脱走中です



### ② まぼろしの?

看板に「まぼろしの蕎麦(そば)」と書かれたお蕎麦屋さん。何がまぼろしなんだろう…



### ③ 雷に掛けた「髪なり」屋

緑の壁に勢いのある字が特徴的。ドアに掛けられた雷小僧が、オープン・クローズを教えてください



### ④ トーテムポール風の石

柏第八小学校の中にある、いろんな顔がついた小さな土管のようなもの。見る時は敷地内に入らず、フェンス越しから



### ⑤ 名戸ヶ谷の森

道の両脇は小さな丸太で舗装されていて歩きやすいようになっています。今の時期は、新緑のいい匂いが漂っています



### ⑥ バスケットボール公園

市内では珍しい、バスケットリングがある公園です。高さの違うものが3つあり、幅広い年代の子どもたちに親しまれています



## 地域のかたのイチオシスポット

### ① 只見町との交流碑

福島県只見町と永楽台地域のつながりは昭和56年から始まり、今年で38年になります。この地域では、記念の周年ごとに植樹しているほか、お互いの学校給食米を交換し、小学校で提供するなどもしています。



### ② 名戸ヶ谷ビオトープ

このビオトープは水田エリアと湿地エリアに分かれていて、それぞれ別の生きものが生息しています。稲作の体験や自然観察会などが行われ、自然環境への理解を深める場として活用されています。



### ③ 藪崎邸の長屋門

江戸時代の建築物と伝えられる長屋門。敷地内には現在も人が住んでいます。中央の扉の脇にある3畳ほどの小部屋は、奉公人が寝泊まりしていた番部屋だそうです。長屋門には武者窓が付いています。



### 教えていただいた皆さん

▲(左から) 上田晃さん、小林勝利さん、藤崎誠さん

## 広報紙担当の ぶらっど 体験記

地域のかたは、「永楽台をはじめ近くの地名に、台や丘とつくところが多いことから分かるように、坂が多い地域なんだ。それから、市とふるさと交流都市である只見町は、もともと永楽台地域が交流していたことがきっかけなんだよ」と教えてくれました。

この地域は、住宅街の中にも水辺などの自然が残っていて、小さな子どもがザリガニ釣りをして楽しむ姿など、昔ながらの風景を見ることができました。

さんぽする際には、急な坂や狭い道があるので、注意して楽しんでくださいね。



◎連動企画「フレイル予防ウォーキング」を開催。詳しくは、本紙9面で確認を

次回(6月1日号)は  
藤心近隣センター  
から歩く お楽しみに!

